

組織学的絨毛膜羊膜炎に対する新規診断バイオマーカー有効性に関する観察研究

1. 研究の対象

研究の対象は、国立成育医療研究センターで作成され、研究者が同センターバイオバンクから分譲をうけたヒト胎盤栄養膜細胞です。ヒト胎盤栄養膜細胞とは正期産で分娩した後の胎盤から栄養膜細胞を分離し、白血球抗原クラスⅠ陽性細胞を除去した後、培養し分化・融合することで作成された細胞モデルです。

2. 研究期間

研究実施許可後～2030年12月31日まで

3. 研究目的・方法

本研究の目的は、子宮内の炎症（絨毛膜羊膜炎）時に栄養膜細胞が産生する炎症に関連するタンパク質を同定し、絨毛膜羊膜炎診断の指標を開発することです。

本研究はヒト胎盤栄養膜細胞を用いる実験です。栄養膜細胞を3種類の炎症調節因子（サイトカイン）で刺激し、絨毛膜羊膜炎と同じ状態を試験管内で再現します。刺激後に栄養膜細胞の遺伝子発現レベルを比較（トランスクリプトーム解析）したり、刺激で栄養膜細胞が分泌するタンパク質を網羅的に調べたりする（プロテオーム解析）ことで絨毛膜羊膜炎の診断に有効なタンパク質を同定します。

4. 研究に用いる試料・情報

国立成育医療センターで作成されたヒト胎盤栄養膜細胞を試料として使用します。

本研究で取得した上記の試料は実験終了後直ちに廃棄し、本研究の解析によって得られた情報は研究終了日から5年／結果公表日から3年（いずれか遅い日）保管し、保管期間終了後は適切に廃棄します。また、上記の情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があります。その場合、岩手医科大学ホームページ（実施中の臨床研究に関する情報公開）に新たな計画・実施される研究に関する情報を公開し、対象者に周知したうえで利用いたします。

5. 研究費および利益相反

本研究は、小児科学講座の講座研究費、本研究の研究者の研究費（科学研究費助成事業、23K07318）を用いて行われます。

研究者は本研究に関係する企業等から個人的及び大学組織的な利益を得ておらず、開示すべき利益関係（利益相反）はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：赤坂 真奈美

岩手医科大学医学部小児科学講座

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1-1

TEL：019-613-7111（内線3701）

FAX : 019-907-7104

E-mail : manami-imed@umin.net

照会先の連絡先：外館 玄一郎

岩手医科大学医学部小児科学講座

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1

TEL : 019-613-7111 (内線 3701)

FAX : 019-907-7104

E-mail : gsotodat@iwate-med.ac.jp

-----以上